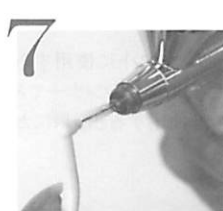


5 ノズルキャップを外します。



6 ノズルを専用スパナで取外します。



7 ノズル経路は筆や歯間ブラシなどで洗浄すると良いでしょう。

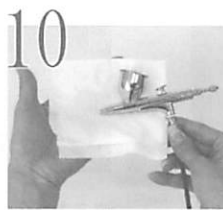
Point



8 外したノズルキャップ・ニードルキャップも洗浄します。



9 ニードルに付着した塗料をふき取ります。



10 エアブラシ本体もやわらかい布やペーパーで塗料を拭き取ります。

☆ニードルキャップ・ノズルキャップ・ノズルなど汚れがひどい場合はクリーナーなどに浸けておきます。

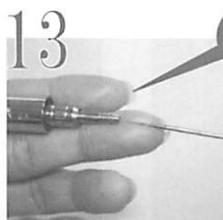
※注: エアブラシ本体はシンナー等の液中に浸さないでください。パッキン類の損傷原因になります。



11 専用のスパナでノズルを取付けます。



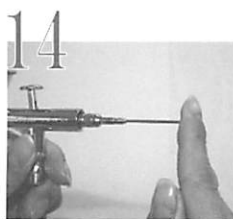
12 ニードルキャップ・ノズルキャップを取付けます。



Point

☆ニードルが曲がらないように、指を添えて、ゆっくりと戻します。

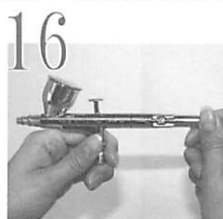
※ニードルを戻すと先端から突起します。ニードルキャップを必ず取付けてから、ニードルを戻してください。



14 指でニードルが止るとことまで、ゆっくり押します。強く押し込むと、ノズルの破損の原因になります。



15 ニードル止めネジをしっかり締めます。

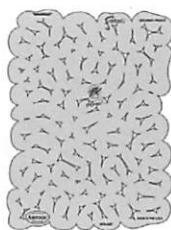


16 キャップを取付け分解洗浄完了です。(確認のため水などで試し吹きしてください)

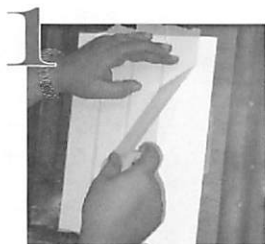
◎カスタムペイントテクニック

バイクや車などのカスタムペイントに使用する塗料は溶剤系塗料が主に使用されています。粘度は水を目安に専用シンナーで希釈してください。

テンプレート(耐溶剤性)を使用すると簡単にカスタムペイントが楽しめます。



HPA-KFX6
テンプレート



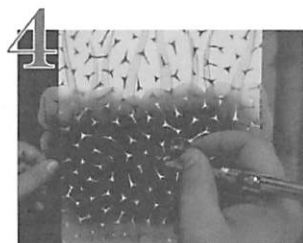
1 マスキングテープで全体を覆います。



2 マスキングの上にファイヤーパターンを描きます。



3 描いたファイヤーパターンに沿ってカットし、塗装したい面をはがします。



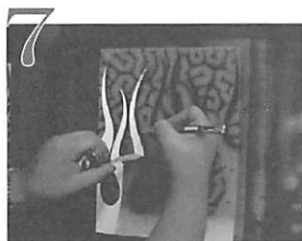
4 残ったファイヤーパターンの上からテンプレートを使い模様をつけます。



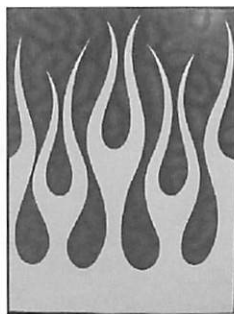
5 フリーハンドで立体感が出るよう陰影をつけます。



6 上から透明色の塗料を吹付けます。



7 残っていたマスキングテープをはがして完成です。



完成図

◎Tシャツアート

Tシャツアートに使用する塗料は専用のテキスタイルカラーを使用します。キャンパスや紙はもちろん、布・皮・木材など、どんなものにもペイントできます。水性カラーなので、シンナーなどの嫌な臭いがしません。薄めずそのまま使用します。



テキスタイルカラー

Variation1



1 Tシャツにプリントしたい文字をくりぬきカッティングシールなどを貼ります。



2 エアブラシで吹付けます。



定着図



3 カッティングシールをはがします。



4 乾いたら、アイロン(もしくはドライヤー)をかけた定着します。

Variation2



1 Tシャツに描きたい模様や絵を鉛筆で下書きします。



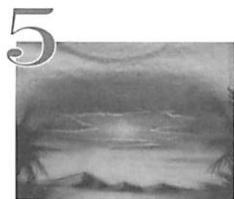
2 エアブラシで薄く下書きします。



3 全体に色を付けます。



4 細かい部分を描きます。



5 ホワイトでハイライトを入れると、全体が引き立ちます。



6 乾いたらアイロン(もしくはドライヤー)をかけた定着します。



定着図

◎ネイルアート

エアブラシネイルアートはムラのない吹付けと、筆では得られない極細線・ボカシ・グラデーションなど繊細な表現が簡単に描けます。

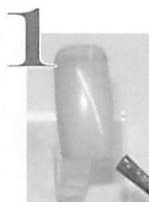
ネイルアートの色材は、アクリル絵具（水性）が主に使用されています。

専用のネイルアートカラーとステンシルを使用すると様々なバリエーションが楽しめます。



ネイルアートカラー

Variation1



1 爪もしくはネイルチップにベースコートを塗り、よく乾かします。



2 2種類のベースカラーを吹付け、グラデーションを作ります



3 ベースカラーがよく乾いているのを確認し、ステンシルを使ってデザインを吹付けます。ステンシルは爪の形に合わせて押さえつけてください。

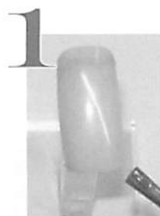


4 よく乾いているのを確認し、パーニッシュを吹付けます。



5 乾いたら、トップコートを塗り完成です。

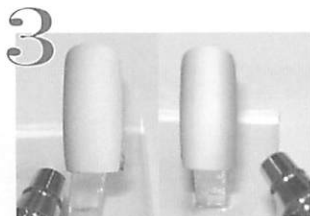
Variation2



1 爪もしくはネイルチップにベースコートを塗り、よく乾かします。



2 エアブラシで爪全体にベースカラーを吹付けます。



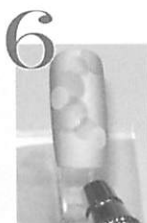
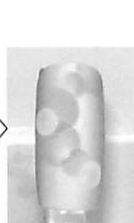
3 ベースカラーが乾いたら、両側にカラーを吹き付けます。



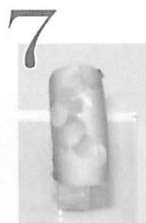
4 ステンシルは爪の形に合わせて押さえつけてください。



5 繰り返しステンシルを使ってパタンよく吹付けます。



6 よく乾いているのを確認し、パーニッシュを吹付けます。



7 乾いたら、トップコートを塗り完成です。

Nail-Art Item

NAT201
パーニッシュ

トップコートの前にエアブラシで薄く吹付ける定着材。トップコートによるアート引きを防ぎます。



◎ボディアート

ボディアートは腕や背中はもちろん、胸元など体のあらゆるところに描くことが出来ます。

ペイントやシールとは違い、違和感のないリアルなボディアートが楽しめます。

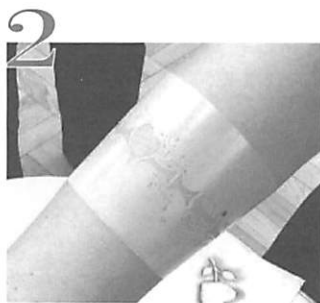
専用のボディカラーとステンシルを使用すると簡単にエアブラシボディアートが楽しめます。手入れにもよりますが、シャワーを浴びる程度なら、2～5日ほど持ちます。



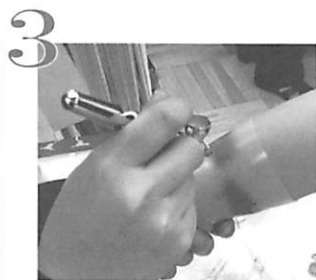
ボディアートカラー



1 ステンシルはシールタイプになっているため、台紙から剥がし、肌に貼り付けます。



2 透き間を作らないように肌にぴったりとはり付けてください。



3 ステンシルの上からエアブラシで吹付けます。エアブラシカラーをよく振ってお使いください。(カラーを混ぜ合わせて使用することも出来ます。)



4 ステンシルをゆっくと剥がします。



5 乾いた後で、専用のセッティングパウダーで定着させ完成です。

エアブラシのトラブルやメンテナンス方法についてお答えします。

Q : エアーは出るのに塗料が出てこない!

- A** : ●ニードル止ネジが緩んでいると、ニードルがスライドしません。しっかり閉めてください
 ●ノズルキャップが緩んでいると、エアーが逆流します。ノズルキャップをしっかり閉めてください。
 ●プリセットハンドル付のエアブラシはプリセットハンドルが全閉の時は塗料が噴出しません。プリセットハンドルをゆるめてください
 ●長時間の使用で、ノズル内やニードルに塗料が固まってしまい塗料が出てこない事があります。
 ノズル・ニードルを洗浄してください。



Q : 吹付けたパターンがいびつになってしまう!

- A** : ●角度は吹付ける(被塗物)面に対して直角ですか?
 ●塗料の粘度が高いときれいな吹付けが出来ません適度に希釈してください。
 ●ニードルが曲がっていると、パターンがいびつになってしまいます。
 (ニードルの先端は大変曲がりやすいので、ニードルキャップを外している時や洗浄時は特に注意してください。)

Q : エアブラシの接続口はどのメーカーも同じですか?

- A** : ●ほとんどが共通です。メーカーのほとんどが、JIS規格 1/8 オスを使用しています。ジョイント部を変換して使用できる場合は変換ジョイントで接続口を合わせ使用します。稀に使用できない機種もあります。

Q : 使用していると、エアブラシから水が出てくる!

- A** : ●空気中の水分量が多いとき(とくに雨や梅雨時期など)にその空気を圧縮するため、水分が出やすくなります。
 ●ホース内に水分がたまっていることがあります。エアブラシを外し、エアを吐出させ、ホース内の水分を取り除いてください。
 ●エアフィルターを接続することをお勧めします。この場合、コンプレッサからなるべく離して接続すると、水分がより効果的に取り除くことができます。
 エアフィルター内にも水分が溜まりますので、定期的に水抜きをしてください。(参考 10 ページ)

Q : どんな塗料を使えばいいですか?

- A** : ●使用用途によりますが、基本的に希釈できる塗料であれば、どんな塗料でも使用可能です。エアブラシで使用する塗料は筆で使用する場合より希釈して使用してください。粘度は水を目安にしてください。
 溶剤系の塗料でも、耐溶剤のテフロンパッキンやボトルキャップを採用しているので、使用可能です。粒子の入っている塗料(顔料・メタリックなど)は、ノズル内で詰まってしまうので、おすすめできません。
 2液性(硬化剤入り)の塗料などは、エアブラシの塗料経路で固まってしまい、詰まってしまうので、すぐに洗浄するか、使用はさけてください。

Q : 使用中に塗料カップから泡がでて逆流してしまう！

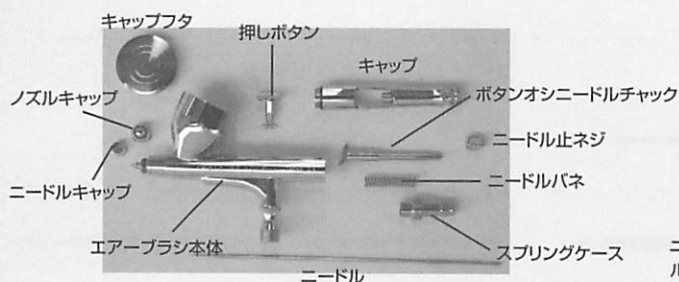
A : ノズル・ニードルの間に隙間ができ、エアーが逆流します。
ノズルやノズルキャップは緩んでいませんか？
緩みや洗浄をしても逆流してしまう場合は、ノズルが破損している可能性があります。破損しているときは部品を交換してください。

Q : ダブルアクションなのに押すだけで塗料が出てくる！

A : ノズル・ニードルが通常は塗料を塞いでいるのですが、ノズル・ニードルに隙間ができている可能性があります。ニードルを適切な位置に戻すが、ノズルが破損していないか確認してください。また、ニードルを強く入れすぎたり、曲がったニードルでノズルが破損してしまいます。破損しているときは部品を交換してください。

Q : 分解したら、取付けできなくなってしまいました。

A : エアブラシは小さな部品で構成されています。失くさないように注意してください。



Point



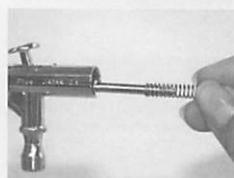
ニードルが突起しているので、ニードルを戻す前に、ノズルキャップ・ニードルキャップを先に取付けてください。



押しボタンを適切な位置に戻します。



ボタンオシニードルチャックを取付けます。



ニードルパネを取付けます。



スプリングケースをしっかりねじ込みます。



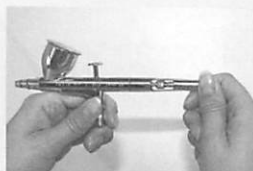
ニードルを戻します。(曲がりやすいので丁寧に扱ってください。)



ニードルを適切な位置までゆっくり差し込みます。



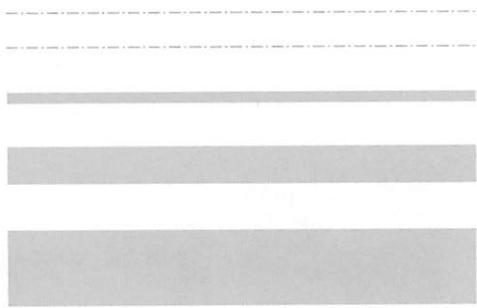
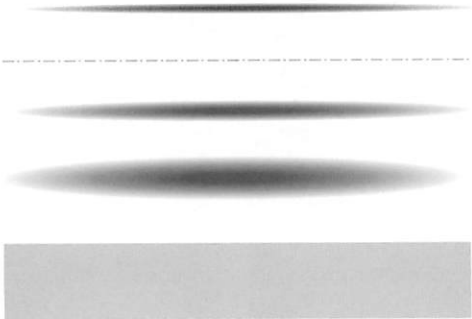
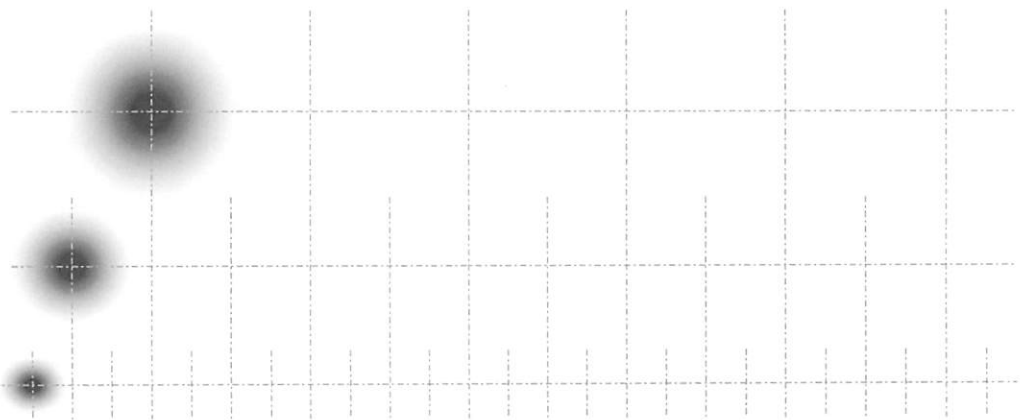
ニードル止めネジをしっかり固定します。



本体キャップをかぶせ完了です。(確認のため試し吹きをしてください。)

Try!

Lesson Text



Try!

Lesson Text

